


平成14年3月期第3四半期 業績等の概況

上場会社名 **株式会社Eストアー** 
 (コード番号: 4304)
 本社所在地 東京都新宿区新宿五丁目5番3号
 問合せ先 取締役経営管理本部長 越後屋 真弓
 T E L (03) 5367-3657

1. 業績

(1) 平成14年3月期第3四半期(平成13年4月1日～平成13年12月31日)の業績

(単位:百万円未満切り捨て)

	平成14年3月期第3四半期 (当第3四半期 9ヶ月累計)	対前年同 期増減率	平成13年3月期第3四半期 (前第3四半期 9ヶ月累計)	参 考 前期(通期)
売 上 高	1,091	% -	-	1,233
営 業 利 益	266	-	-	298
経 常 利 益	262	-	-	331

(2) 事業別売上高

(単位:百万円未満切り捨て)

	平成14年3月期第3四半期 (当第3四半期 9ヶ月累計)		対前年同 期増減率	平成13年3月期第3四半期 (前第3四半期 9ヶ月累計)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金 額	構成比
サ ー ビ ス 事 業	1,014	% 92.9	-	-	% -	1,086	% 88.1
受 託 事 業	77	7.1	-	-	-	146	11.9
合 計	1,091	100.0	-	-	-	1,233	100.0

(注) 1. 当四半期にかかる数値について、公認会計士又は監査法人の監査は受けていません。

2. 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算を実施していませんので、開示を省略しています。

(3) 主な資産・負債の変動について

(単位:百万円未満切り捨て)

項 目	平成14年3月期第3四半期	増 減 額	前 期 末
(資 産)			
現 金 及 び 預 金	836	160	676
有 価 証 券	56	55	0
投 資 有 価 証 券	135	129	6
(負 債)			
未 払 金	28	55	84
未 払 法 人 税 等	10	159	169

(注) 1. 当四半期にかかる数値について、公認会計士又は監査法人の監査は受けていません。

2. 項目ごとの変動幅が総資産の2%を超えるものについて記載しています。

2. 業績の概況（平成13年4月1日～平成13年12月31日）

当第3四半期における国内景気動向は、企業収益、生産および設備投資が減少すると共に、個人消費が弱含み、失業率がこれまでにない高さに上昇するなど、一層厳しさを増す状況で推移しました。

このような経済情勢のもと、当社を取り巻くインターネット業界は、低価格のブロードバンドサービスを提供する企業の急増による常時接続の利用者増加とともに、レンタルサーバやEコマース（物流・決済インフラ）などの事業者のインターネットサービスインフラに対する需要も拡大傾向にあります。厳しい国内景気動向の影響を受け、決して好環境とは言えない状況にあります。

このような状況で、当社は主にサービス事業における商品開発、販売代理店の拡大およびカスタマーサポートの強化に注力してまいりました。この結果、当第3四半期の売上（累計）は1,091百万円、営業利益は266百万円（売上高営業利益率24.4%）、経常利益は262百万円（売上高経常利益率24.0%）となりました。

（事業別売上・サービス事業）

サービス事業では、「ストアツール」および「サイトサーブ」に次ぐサービスとして、平成13年5月より携帯電話を使ったマーケティングサービス「インフォポケット」、また、平成13年11月よりアイ・ティー・テレコム(株)へのOEM供給により、同社の「ITパーク」ブランドにてレンタルサーバサービスとデータ保管サービスの提供を開始しました。販売代理店の拡大においては、平成13年5月に「ストアツール」についてグローバルメディアオンライン(株)、平成13年11月に上記アイ・ティー・テレコム(株)と代理販売委託契約を締結しました。

また、顧客向けのコールセンター（ヘルプデスク）の一部を一時アウトソースしていましたが、顧客情報の一元化を図り、カスタマーサポートのさらなる品質向上と強化のため、コールセンター全てをインソースしました。以上のように商品開発、販売代理店の拡大、そしてカスタマーサポートの3面を強化することにより、サービス事業の収益拡大とサービス品質の向上に尽力してまいりました。

これにより、当第3四半期のサービス事業の売上は1,014百万円（構成比92.9%）となりました。なお、その内訳は、「ストアツール」229百万円、「サイトサーブ」773百万円、「インフォポケット」9百万円となっています。

（事業別売上・受託事業）

受託事業はサービス事業への注力のために、積極的な営業活動を控えており、当第3四半期の売上は77百万円（構成比7.1%）にとどまりました。

3. 当期の見通し（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

長期にわたり低迷が続いている国内景気は、第4四半期も依然として不透明な状況が続くものと予想されます。このような環境で、当社は引き続き販売代理店の開拓および関係強化を積極的に推進するとともに、効率的な事業運営を推し進め、収益の拡大を図ってまいります。

なお、当社は会社設立後3年に満たず、当社の属するインターネット業界は環境の変化が常態であり、また当社で提供するサービスの販売動向は各販売代理店に依存しています。このため、現時点においては、業績見通しの数値に関する精度について確証が得られず、業績見通しの発表後に訂正などを行った場合においては、結果的に投資家を困惑させる可能性が否定できないため、早期に四半期ごとの決算実績および事業の概況を開示することに努め、業績予想については開示しない方針です。

4. その他

（1）資本金および発行済株式数

当社は平成13年9月19日付にて、大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場に上場しました。これにより、資本金は、244,420千円から414,420千円となり、また、発行済株式数は9,327株から10,327株となりました。

（2）組織変更および役職名の変更

経営環境の変化に即応するための体制強化と営業戦略の一層の充実を図ることを目的として、平成13年10月1日付にて、組織変更を実施しました。同時に、取締役運用本部長 内山洋は、取締役マーケティング部長となりました。

5. 四半期財務諸表

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成14年3月期第3四半期 (平成13年12月31日現在)	
	金 額	構成比
流 動 資 産		%
1. 現 金 及 び 預 金	836	
2. 売 掛 金	138	
3. た な 卸 資 産	3	
4. そ の 他 貸 倒 引 当 金	65 2	
流 動 資 産 合 計	1,042	79.5
固 定 資 産		
(1) 有 形 固 定 資 産	85	
(2) 無 形 固 定 資 産	25	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	157	
固 定 資 産 合 計	268	20.5
繰 延 資 産	0	0.0
資 産 合 計	1,311	100.0
流 動 負 債		
1. 買 掛 金	47	
2. 未 払 金	28	
3. 未 払 法 人 税 等	10	
4. 賞 与 引 当 金	4	
5. そ の 他	42	
流 動 負 債 合 計	134	10.2
負 債 合 計	134	10.2
資 本 金	414	31.6
資 本 準 備 金	430	32.8
そ の 他 の 剰 余 金		
特 別 償 却 準 備 金	11	
四 半 期 未 処 分 利 益	319	
そ の 他 の 剰 余 金 合 計	331	25.3
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1	0.1
資 本 合 計	1,177	89.8
負 債 資 本 合 計	1,311	100.0

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成14年3月期第3四半期 (自 平成13年4月1日 至 平成13年12月31日)	
	金 額	百分比
売 上 高	1,091	100.0%
売 上 原 価	476	43.6
売 上 総 利 益	615	56.4
販売費及び一般管理費	349	32.0
営 業 利 益	266	24.4
営 業 外 収 益	6	0.6
営 業 外 費 用	10	1.0
経 常 利 益	262	24.0